施策評価シート(震災復興用) 平成23年度 評価対象年度 政策 4 施策 1 魅力ある農業・農村の再興 施策名 1 施策担当部局 農林水産部 「宮城県震災 農林水産業の早期復興 農林水産部 評価担当部局 復興計画」に 政策 4 (作成担当課室) (農業振興課) おける体系 【農業・林業・水産業】

❶生産基盤の早期復旧

- ◇ 営農の再開に向け、がれきの撤去や用排水施設の復旧、除塩など生産基盤の早期復旧に取り組む。あわせて、用排水施設の円滑な運転を支援する。
- ◇ 加工施設や農業用倉庫などの共同利用施設の復旧に取り組むとともに、被災地からの家畜の避難を支援するほか、園芸施設や畜舎の復旧・整備を推進する。
- ◇ 衛生上の観点などから、浸水した米・大豆等を迅速に処理するとともに、死亡家畜の処理を支援するほか、様々な影響が生じている原子力災害に対して迅速な対応を図る。

②早期営農再開に向けた支援

- ◇ 営農の再開に向けた各種相談に応ずる総合的な窓口を設置するとともに、専門家による経営指導等を行う。また、浸水等により 農地の利用が困難となった農業者に対し、活用可能な農地等の紹介や貸付等を促進するほか、農業法人等での雇用など就農機会 の確保に取り組む。
- ◇ 被災した農業者の経済的負担軽減を図るため、災害対策資金の創設など、資金融通の円滑化を図る。
- ◇ 被災した土地改良区などの農業関係団体を支援するため, 借入金償還の軽減などを図る。

(「宮城の将来 ビジョン・震災 復興実施計 画」の「震災復 興実施計画」 の行動方針)

施策の方向

❸農業・農村復興プランの策定及び生産体制の整備に係る支援

◇ ゾーニングによる土地利用や効率的な営農方式の導入を推進するため,各市町や地域の農業・農村に関する復興計画の策定を支援するとともに,その具現化に向けて,生産基盤の整備や農業経営の効率化に向けた取組を支援する。

④収益性の高い農業経営の実現

- ◇ 収益性の高い農業経営を実現するため、多様な担い手の参入や共同化・法人化に向けた支援を行う。
- ◇ 大規模な土地利用型農業を実現するため、地域水田農業を支える認定農業者や農業法人等への農地集積を図るとともに、農業用施設や機械などの導入を支援する。
- ◇ 稲作から施設園芸への転換や畜産の生産拡大を図るため,園芸施設や畜舎の整備,農業用機械や家畜の導入を支援する。
- ◇ 他産業のノウハウを積極的に取り込むなど、付加価値の高いアグリビジネスの振興を図る。

⑤活力ある農業・農村の復興

次连대座

- ◇ 農業・農村の活性化を図るため、都市との交流促進や6次産業化など、農業の高付加価値化や農村ビジネスの振興に向けた取組を支援する。
- ◇ 農村の持つ多面的機能の維持を図るため、防災対策や自然環境、景観を意識した農村の形成を図る。

施策に関する社会経済情勢等の状況 (全国・隣県・本県の状況, 法令・条例・計画等策定の状況等について)

- ・東日本大震災により、本県の農業においては、中核となり活躍してきた多くの貴重な人材を失うとともに、農地、用排水機場や用排水路等の生産基盤施設、園芸施設及び畜舎等の生産関連施設をはじめ、流通・加工等の関連産業施設等が損壊し、食料供給基地としての機能を大きく低下させる事態となった。生産基盤への大きな被害は、農業者の生活への不安、農業再開への意欲の減退につながり、離農し地域を離れる人が増加することで、本県の農業生産力の維持や農村集落の存続が危ぶまれる状況となっている。
- ・農林水産省は、「農業・農村の復興マスタープラン」(平成23年8月)を策定し、農地の復旧のスケジュールを明確化するとともに、営農再開までの所得確保、担い手の確保、土地利用調整、施設整備等についての基本的な考え方を示した。
- ・県では、「宮城県震災復興計画」及び「みやぎの農業・農村復興計画」(平成23年10月)を策定し、本県の農業・農村の復興に向け、緊急かつ重点的に取り組む具体的な施策を定め、取組の道筋を示した。
- ・「東日本大震災復興基本法」が平成23年6月に施行され、東日本大震災からの復興の円滑かつ迅速な推進を図るほか、「東日本大震災復興特別区域法」が平成23年12月に施行され、復興特別区域基本方針、復興推進計画の認定及び特別の措置、復興整備計画の実施に係る特別の措置、復興交付金事業計画に係る復興交付金の交付等が定められ、東日本大震災からの復興に向けた取組の推進を図ることにしている。

決算(見込)額	年度	平成23年度 (決算(見込)額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
(千円)	県事業費	39,264,974	-	-

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

目標	A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数	値の変化と逆方向	に推移している」		
	N:「現況値が把握できず,判定できない」	初期値 (測定年度)	現況値 (測定年度)	目標値 (測定年度)	達成度
1	農地復旧・除塩対策の施行面積(ha) [累計]	0ha (0%) (平成22年度)	5,780ha (44.5%) (平成23年度)	13,000ha (100%) (平成25年度)	А
2	園芸用ガラス室・ハウス設置面積(ha) [累計]	624ha (平成22年度)	671ha (平成23年度)	840ha (平成25年度)	В
3	津波被災市町における家畜飼養頭羽数(頭)	157,835頭 (平成22年度)	165,000頭 (平成23年度)	180,000頭 (平成25年度)	A
4	土地利用型農業を行っている農家生産法人1法人当たりの水田経営面積(ha)	21.9ha (平成22年)	22.1ha (平成23年)	30.0ha (平成25年)	В

■ 施策評価 (原案)

施策の成果 評価の理由 目標指標等, 県民意識 ・目標指標等について,農地復旧・除塩対策の施工面積は計画を上回り,目標を達成した。また,施工面積のうち 1,150haは年度内の作付が可能となった。園芸用ガラス室・ハウス設置面積は事業等を活用した取組のほか、企業の支援 調査結果, 社会経済情 を受けた施設整備等の事例があるなど、増加している。津波被災市町における家畜飼養頭羽数は予定を上回る増頭が 勢, 事業の実績及び成 あり、目標を上回った。土地利用型農業を行っている農業生産法人1法人当たりの水田経営面積は当該法人への農地集 果等から見て,施策に 積が図られ,水田経営面積はやや増加している。 期待される成果を発現 させることができたか ・この他, 被災した69箇所の排水機場のうち応急工事等により52箇所の排水機場を稼働させた。また, 水稲の作付は平 (震災からの復興が進 成23年産の生産数量目標配分後に津波による作付不能水田が発生したことから、被災した地域と被災していない地域と んでいるか)。 の地域間調整等を実施した結果, 水稲作付面積は66,400ha(対前年比90%)となった。野菜は63.3ha, 花きは15.4haで 再開される予定である。畜産は経営再建家畜導入として、乳用牛55頭、肉用牛62頭、採卵鶏154千羽を導入した。 ・上述のとおり、東日本大震災に対応した国の措置を活用しながら、国、県、市町村等が総力をあげて支援を行った結果、多くの事業が効率的に実施され、着実に成果が認められるなど、概ね順調に推移している。 【評価】 ・以上のことから、施策の目的である「農林水産業の早期復興」に向けた本施策の進捗状況は概ね順調であると判断す る。 概ね順調

施策を推進する上での課題と対応方針 (原案)

※施策が直面する課題や改善が必要な事項等 ※今年度の対応状況を含む今後の対応方針

課題

・震災前の状態へ復旧するには、相当な時間を要すると考えられ、農業者の事業再開までの道のりは大変厳しいものとなっており、更なる担い手の減少が懸念されている。また、原油価格高騰をはじめ生産資材等の需給や価格の不透明感により経営への重大な影響が懸念されるなど、取り巻く環境は厳しさを増しており、早期復旧を図ることが必要である。

【対応方針】

- ・農地の復旧や除塩対策を計画的に進めるとともに,防潮堤や排水機場の復旧を推進し,農業の生産基盤の早期復旧を図る。
- ・津波の被害が甚大な区域等においては、農地復旧と平行し、新たな土地利用計画に基づくほ場の大区画化を推進する。
- ・東日本大震災により崩壊した地域農業の復興を図るため,集落・地域での話し合いに基づき,被災地域の農業を担う経営体を定め,農地集積及び 生産施設の整備等を支援する。
- ・園芸産地の復興に向け、園芸団地の整備を推進する。
- ・東日本大震災復興特別区域法で制度化された特区制度や復興交付金事業等を活用し、地域のニーズに対応した復興支援を行う。

分析

設定根拠

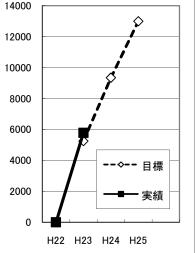
政策 4

施策 1

目標指標等の状況

- ※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 - C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 - N:「現況値が把握できず、判定できない」

	目標	指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	農地復	日・除塩対策の施工面	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-	1400
1	積(ha)		目標値(a)	-	5,250	9,350	13,000 100%	-	1200
•	農地復	日・除塩対策の施工面	実績値(b)	0 0%	5,780 44.5%	1	-	-	1000
	積(ha)	ロ州温州州ツ旭二田	達成(進捗)率(b)/(a)	-	110%	-	-	ı	1000
			達成度	-	Α	-	-	1	800
	漂値の 定根拠	・平成24年1月31日に ドマップ」で示した農地 度に5,250haを施工する	復旧・除塩対策が						600
		・平成23年度は5,780h	の典地復口・吟佐	けかまたす	* な ふ と ・ ・	1 150b o / t	年度内の	た仕けぶ	400
実約	責値の	平成23年度は5,780m可能となった。	ävノ辰地饭口 ¶床塩	1.刈水で夫	心心。ノウ,	i,iouna(a	十段的の	[F13 () /) ³	200

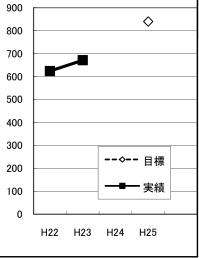


	目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	園芸用ガラス室・ハウス設置面	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	ĺ
2	積(ha)[累計]	目標値(a)	-	-	-	840	ı
_		実績値(b)	624	671	-	-	Í
	栽培用に使用した園芸用ガラ ス室・ハウス設置の実面積	達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-	-
	2. 2. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	達成度	_	В	_	_	_

・東日本大震災により沿岸地域では、園芸用施設が壊滅的な被害を受けた。また、内陸部 でも施設内の機械、資機材に被害を受け、栽培が困難となっているところもある。 ・みやぎ園芸特産振興戦略プランにおいて、生産基盤がしっかりとした競争力の強い産地づくりに向けた支援を行うこととしている。 目標値の

・大震災からの復旧・復興に向け、東日本大震災農業生産対策事業等の活用の動きもある ことから、栽培用に使用した園芸用ガラス室・ハウス設置の実面積を目標指標として設定す

・東日本大震災農業生産対策事業等を活用した取組の他、民間企業の支援を受け、施設 実績値の 整備が行われた事例などがあった。 分析 ・復興交付金事業等の活用を図ることにより、今後も設置面積の伸びが期待できる。



評価対象年度 平成23年度 施策 政策 4 1 目標指標等名(下段:説明) 評価対象年度 初期値 H23 H24 H25 H26 185000 指標測定年度 H22 H23 H24 H25 津波被災市町における家畜飼 養頭羽数(頭) 目標値(a) 163,000 167,600 180,000 180000 3 実績値(b) 157,835 165,000 市町村家畜飼養頭羽数調べ 175000 達成(進捗)率(b)/(a) 101% による 達成度 Α 170000 津波被災市町における家畜飼養頭羽数について、復興に向けた導入費助成により、増 頭を図るもの 165000 目標値の ・津波被災市町においては畜舎や家畜の流失等により, 飼養頭数は減少したが, 震災復 設定根拠 興計画等では、畜舎の復旧や家畜導入の再開により、増頭を図っていくこととし、180,000 160000 頭羽に目標を設定した --<- 目標 ・平成23年度は、ライフラインの復旧を中心に支援を行い、畜産経営を再開できる体制整 155000 備を図った 実績値の ・営農意欲が高まるとともに、畜産経営再開の具体的な取り組みが始まり、畜舎の増改築が 150000 ╸実績 分析 始まった。 145000 H22 H23 H24 H25 目標指標等名(下段:説明) 評価対象年度 初期値 H23 H24 H25 H26 土地利用型農業を行っている 指標測定年度 H22 H23 H24 H25 35.0 農業生産法人1法人当たりの 目標値(a) 24.6 27.3 30.0 水田経営面積(ha) ♦ 22.1 30.0 実績値(b) 21.9 農業生産法人の活動状況調 査で, 営農形態が「米麦作」の **| 達成(進捗)率(b)/(a**) 90% 法人、「その他」のうち水田経 25.0 営面積が5ha以上の法人の水 達成度 В 田経営面積の平均 20.0 国においては、農林漁業再生のための戦略として、平地で20~30ha規模の経営体が大 宗を占める構造を目指すとしている。農業生産法人は大規模農業経営の一定割合を占め 目標値の ており,年次毎の経営面積の把握が可能であることから,「土地利用型農業を行っている農 15.0 業生産法人1法人当たりの水田経営面積」を目標指標として設定した。 設定根拠 ・国では経営規模20~30haを目指しており、農業生産法人は大規模農業の中心的役割を 期待されていることから,目標値を30haに設定した。 10.0 ------ 目標 ・平成23年の土地利用型農業を行っている農業生産法人1法人当たりの水田経営面積は 22.1haと前年度をやや上回った 5.0 実績値の 実績 ・今後は農地の復旧とともに、地域の農業を担う経営体として農業生産法人等への農地集 分析 積が期待できる。 0.0 H22 H23 H24 H25

平成23年度

政策 4 施策 1

宫	城県	震災復興推	進事業											
番号		事 業 名	平成23年度 決算(見込) 額(千円)				事業	美の状況	7					
		担当部局·課室名	特記事項											
				昼火() ァトル 基	事業相		1044±	7E (D.3)			色状況・成場	-		
1	東日旧事	本大震災災害復 業	10,750,969	向上を図るた 事を実施する	Fしく損なわれ こめ,農地・農 ることにより, <u></u>	業用施設等の	り復旧工	旧。被災 より52箇	とした69箇戸 所の排水機	fの排水機場 後場を稼働し)うち農地5,' 易のうち応急 した。また, ほ を実施した。	工事等に 国直轄災害		
	0				事業の	の分析結果								
	01	農林水産部	4① 3 に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	と別 決算(5	見込)額(千	-円)		
		農村振興課,	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	維扎	诗	H22	H23	H24	H25		
	急	農村整備課	関連:取組6	J	た - ************************************			1	- B	10,750,969	-	_		
				典光の奴骨	事業 板 の維持と安定		最巛 /ァト	, 油田力	平成23年度の実施状況・成果 対象:3団体、7件					
2		用共同利用施設 復旧事業	15,216	り被災した農	の維持と女足 業協同組合 ^会 の復旧を図る	等が所有する		11114 2 4 1 4	《《3·3·3·3·3·4·4·4·4·4·4·4·4·4·4·4·4·4·4·	/IT				
	0	農林水産部			事業の	の分析結果			午店	F则选管/F	見込)額(千			
	03	辰 怀 小庄叩		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+15	·加沃异()	元达/領(丁	- D)		
	緊急	農林水産経営支 援課	ビジョン	妥当	成果があった	効率的	廃」	止	H22	H23	H24	H25		
	忌	1及1本	関連:取組6			正曲			<u> </u>	15,216				
3		本大震災農業生 策事業	4,268,436	の改修,再級)早期再生の 扁整備,農業相			開に必要	用施設の後	夏旧及び再編 械や資機材	編整備の他, の導入を支	,経営の再		
	0	農林水産部			1	D分析結果			年度	別決算(見込)額(千	-円)		
	04		4①4に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性		1	1			
		農産園芸環境課, 畜産課	ビジョン 関連:取組6	妥当	成果があった	概ね効率的	維打	寺	H22 _	H23 4,268,436	H24 _	H25 _		
	/EX		为走. 坎旭0		 事業机	<u> </u> 東			平成233	<u> </u>	L 拖状況•成績	 		
4		家畜緊急避難輸 理支援対策事業	2,559	困難となった ことが困難と を維持するた	イフラインの 生産者や被 なった生産者 ため、震災家 け入れ先の飼	金絶により家 災家畜を継続 を救済し,農 畜の避難に要	飼養する 業生産力 する輸送		續64頭 額2,559千					
	0	農林水産部			事業の	の分析結果			在 6	E別決質(E	見込)額(千	-田)		
	05	及中的化生品		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+13			1 3/		
	緊急	畜産課	ビジョン 関連:取組6	妥当	成果があった	効率的	廃」	止	H22	H23	H24	H25		
	心		戌年:収租0			L 要			平成23	2,559 年度の宝装		 里		
5	被災援事	農家経営再開支 業	3,720,000	組合で行う農地復旧の取組や、園芸施設、畜舎合が					平成23年度の実施状況・成果 ・津波被災のあった沿岸12市町において、38復興組合が組織され、除草、ゴミ拾い、除草剤散布等の取組が行われた。					
	0	曲井小卉如			事業の	の分析結果			左曲	E Dil (中 / 年 / 年	ヨンスト 東西 / マ	·ш/		
	06	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	牛	5別 次 昇(5	見込)額(千	-円 <i>)</i>		
	緊急	農産園芸環境課	ビジョン 関連:取組6	妥当	成果があった	効率的	維持	诗	H22	H23 3,720,000	H24 _	H25 _		
	1EX		/시선·사旭U	<u> </u>	L '-					0,140,000				

					事業概	既要			平成23	年度の実施	拖状況•成身	果
6	地震事業	≣被災米穀等処理 ६	146,258	米穀や大豆産物処理を	を水等の被害を について,市 行う。			倉庫内の委託を		豆の廃棄物	等の被害を受 処理につい	
	0	農林水産部			事業0	D分析結果		•	年度	別決算(見込)額(千	-円)
		DETT TVILLE		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	H22	H23	H24	H25
	緊急	農産園芸環境課	ビジョン 関連:取組6	妥当	成果があった	概ね効率的	廃」	止	-	146,258	- П24	– –
		<u> </u>			事業概						拖状況·成身	
7	援推	《家畜円滑処理支 挂進事業	19,300	た家畜の適う		理に要する費					4千頭羽の家 経営の再開	
	0	農林水産部		1.V ###		D分析結果	次左座の	\ +	年度	医別決算(5	見込)額(千	円)
	野又		ビジョン	①必要性	②有効性 成果があっ	③効率性	次年度の)方问性	H22	H23	H24	H25
	緊急	畜産課	関連:取組6	妥当	た	効率的	廃」	止	-	19,300	_	-
8		₹被災家畜処理円 と事業	13,313	畜が死亡した 助する。	事業権 県内の畜産農 た場合の運搬	まで飼育して			9頭, 豚:350		也状況・成∮ 〔,鶏:170,99	• -
	10	農林水産部		@ N. T. I.I		D分析結果	.,		年度	医別決算(5	見込)額(千	-円)
	'		ビジョン	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	H22	H23	H24	H25
	緊急	畜産課	ピンョン 関連:取組6	妥当	成果があっ た	効率的	廃」	止	-	13,313	-	-
					事業概	要				年度の実施	拖状況•成 ₽	果
						- E → L 3%	サード ナール	NT 34 15	5.1 ≥ Ln +m &-6	· 게스코& 1日 그	o like	
9		5自粛牧草等処理 骨化事業	587,664	により放射性	式会社福島第 生物質に汚染さ 骨に進めるため	された稲わら及	及び牧草	①汚染和 ②一時位 ③汚染和	稲わらラッピ	設置及び擦 管処理等		
9	円滑		587,664	により放射性の処理を円差助成する。	生物質に汚染されるため	Sれた稲わら及 め, 処理経費 件	ひが牧草 について	①汚染和 ②一時付 ③汚染が 草地除す	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 染業務 3団	ング 設置及び搬 管処理等]体		·円)
9	円滑 ① 11	農林水産部		により放射性の処理を円対助成する。	生物質に汚染さ 骨に進めるため で変われる。 で変われる。	された稲わら及め、処理経費件③効率性	をび牧草 について 次年度 の	①汚染料 ②一時代 ③汚染料 草地除動	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 染業務 3団	ング 設置及び搬 管処理等]体	5入	·円) H25
9	円滑	骨化事業	587,664 ビジョン 関連: 取組7	により放射性の処理を円差助成する。	生物質に汚染されるため	Sれた稲わら及 め, 処理経費 件	をび牧草 について 次年度 の	①汚染料 ②一時代 ③汚染料 草地除動	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 染業務 3団 年度	シグ 設置及び搬管処理等]体 を別決算(]	_{达入}	
9	円滑 ① 11	農林水産部	ビジョン	により放射性の処理を円泊り成する。	生物質に汚染さ 骨に進めるたと ②有効性 成果があった ま業機	*** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	をび牧草 について 次年度の 廃」	①汚染/2 ②一時(3) 汚染/草地除(2) 立方向性	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 染業務 3団 年度 H22 - 平成23:	ング 設置及び搬管処理等]体 E別決算(H23 587,664 年度の実	記入 記込)額(千 H24 - 医状況・成身	H25
9	11 緊急	農林水産部畜産課	ビジョン	により放射性の処理を円泊 助成する。 ①必要性 妥当 東京電力株式で、肉用牛の出荷調期を制	を では でで でで でで でで でで でで でで でで でで	件 (3)効率性 概ね効率的 変更 に関する では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	及び牧草 について 次年度の 廃。 直 所事故 とにより,	①汚染枠 ②一時(③汚染) 草地除 シ方向性 止	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 染業務 3団 年度 H22 - 平成23:	ング 設置及び搬管処理等]体 E別決算(! H23 587,664 年度の実 末 績3,847頭	記入 記込)額(千 H24 - 医状況・成身	H25
	円● 11緊急用業●	農林水産部畜産課	ビジョン 関連:取組7	により放射性の処理を円き 助成する。 ①必要性 妥当 東京電力株: で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	された稲わら及め、処理経費 件 ③効率性 概ね効率的 悪要 「一原子力発」 「一を受けたこ。 中に対して交	をび牧草 について 次年度の 廃 電所事故 とにより, 付する立	①汚染物 ②一時(3) ② (3) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (4) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ング 設置及び棚管処理等 1体 を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(記入 記込)額(千 H24 - 医状況・成身	H25 - 果
	円 1 1 緊急 肉事 1 3	農林水産部 音在課 日午経営緊急支援 農林水産部	ビジョン 関連:取組7	により放射性の処理を円が 助成する。 ①必要性 妥当 東京、内・一部で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学	ででは、 でであるためでは、 でであるためである。 ②有効性 成果があった。 事業視 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	された稲わら及 か,処理経費 件 ③効率性 概ね効率的 要 一原子力発に 示を受けたて交 中に対して交 の分析結果 ③効率性	をび牧草 について 次年度の 廃 電所事故 とにより, 付する立	①汚染枠(②一時)(③)方向性 止 ・緊急支金・交付金 ・交付金	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ング 設置及び棚管処理等 1体 を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(を別決算(記入 見込)額(千 H24 - 地状況・成 勢	H25 - 果
	円● 11緊急用業●	農林水産部畜産課	ビジョン 関連: 取組7 3,391,900	により放射性の処理を円き 助成する。 ①必要性 妥当 東京電力株: で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	物質に汚染される②有効性成果があった事業の②有効性式会社停止肥高立出過したする。事業の②有効性成果があったが果があった	された稲わら及 の、処理経費 件 ③効率性 概ね効率的 要 一のアンター 一のアンター 一のアンター 一のアンター でで対して交 の分析結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をび牧草 について 次年度の 廃 電所事故 とにより, 付する立	①汚染枠(②一時)(③)方向性 止 ・緊急支金・交付金 ・交付金	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 たい肥の保 中度 H22 - 平成23 接金交付 類2,791,58 年度 H22 -	ング 設置及び搬管処理等 1体 E別決算(587,664 年度の実 表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	記入)額(千H24記入)額(千H24H24-	H25 - 一円) H25
	円● 11緊急● 再業● 13緊	農林水産部 音在課 日午経営緊急支援 農林水産部	ビジョン 関連:取組7 3,391,900 ビジョン	により放射性の処理を の処理する。 ①必要性 妥当 東京肉適の経費で、一の必要性 妥当 ①必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・物質に汚染される②有効性成果がた事業は・事業は・事業は・事業の②有効性成果があった事業の②有効性成果があった・事業の・事業の・事業の・事業の・事業の・事業の・・事業の	************************************	及び牧草 について 次年度の 廃 電所事故 とにより, 付する立	① (3) 草 (1) 方向性 (1) 条次 (1) 条	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 たい肥の保 年度 H22 - 平成23: 接後2,791,58 年度 H22 - 平成23:	ング 設置及び棚管処理等]体 E別決算(5 587,664 年度の実 783,847頭 80千円 E別決算(5 H23 3,391,900 年度の実 年度の実	記込)額(千 H24 - 地状況・成り 記込)額(千 H24 - 地状況・成り	H25
	P	農林水産部 音座課 中経営緊急支援 農林水産部 高産課 中経営緊急を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ビジョン 関連:取組7 3,391,900 ビジョン 関連:取組6	により放射性の助成をである。 ①必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ででは、 では、	はいた では できます は できます は できます は できます かっぱい かいます できます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かい	及び牧草について 次年度の 廃 蔵とにする立 次年度の 廃 かけ性物質	① (3) 草 (1) 方向性 (1) 条次 (1) 条	稲わらラッピ 保管施設の たい肥の保 たい肥の保 年度 H22 - 平成23: 接後2,791,58 年度 H22 - 平成23:	ング 設置及び棚管処理等]体 E別決算(5 587,664 年度の実 783,847頭 80千円 E別決算(5 H23 3,391,900 年度の実 年度の実	記入)額(千H24記入)額(千H24H24-	H25
10	P	農林水産部 畜産課 中経営緊急支援 農林水産部 高産課 農林水産部 高産課 農林水産部 高産課	ビジョン 関連:取組7 3,391,900 ビジョン 関連:取組6	により放射性の助成をある。 ①必要性 東で、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番で	 ででは、 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。 	************************************	及び牧草について 次年度の 廃 動とにする立 次年度の 廃 かけば低減	① (2) (3) 草 (3) 方 (b) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	稲わらラッピ 保管施設の保管施設の保 たい肥の 3 回 年度 日 22 - 平成 23: 接額 2,791,58 年度 日 22 - 平成 23: で成 2 可検 査 頭 数	ング 設置及び網 管加 等 1体 を別決算(長 587,664 年度の実 該30千円 を別決算(長 1423 3,391,900 年度の実 次 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、	記込)額(千 H24 - 地状況・成り 記込)額(千 H24 - 地状況・成り	H25 - - H25 - - 果
10	P	農林水産部 畜産課 中経営緊急支援 農林水産部 高産課 農林水産部 高産課 農林水産部 高産課	ビジョン 関連:取組7 3,391,900 ビジョン 関連:取組6	により放射性の助成する。 ①必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ででは、 では、	はいた では できます は できます は できます は できます かっぱい かいます できます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かい	及び牧草について 次年度の 廃 蔵とにする立 次年度の 廃 かけ性物質	① (a) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	稲わらラッピ 保管施設の保管施設の保 たい肥の 3 回 年度 日 22 - 平成 23: 接額 2,791,58 年度 日 22 - 平成 23: で成 2 可検 査 頭 数	ング 設置及び網 管加 等 1体 を別決算(長 587,664 年度の実 該30千円 を別決算(長 1423 3,391,900 年度の実 次 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、	記込)額(千 H24 - 地状況・成身 記込)額(千 H24 - 地状況・成身 23頭, 県外	H25 - - H25 - - 果

					事業概	既要			平成23:	年度の実施	色状況•成績	果
	- 			震災により破の復旧を図る	び損した畜産詞	大験場のヰ水	タンク等	・震災に旧	より破損した	た畜産試験	場のヰ水タン	/ク等の復
	角座 旧事	試験研究災害復 [業	26,726		νο			ш				
			20,720									
12	_								1			
	1 5	農林水産部		①心亜州		D分析結果 ②執衷性	- カケ 中で	大 古世	年度	医別決算(見	見込)額(千	円)
	E T		ビジョン	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	力问性	H22	H23	H24	H25
	緊急	畜産課	ピンョン 関連:取組6	妥当	成果があっ た	効率的	廃.	止	-	26,726	-	-
		L			事業概				平成23:	年度の実施		果
					医害を受けた岩 管理棟の復旧		草地並び		」牧場採草は 実施した。	也並びに白	石牧場管理	棟の復旧
	畜産 業	生産基盤対策事	1,470		日生水沙坂口	エザでリル		エキマシ	尺 /匝じ/こ。			
			1,470									
13		Γ			ب عالد م	- 11 14 T			1			
	1 6	農林水産部		①必要性	事業0 ②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度の	大白州	年度	医別決算(5	見込)額(千	円)
	₽₹		ビジョン		成果があっ	③効率注	火牛及0.	刀叫注	H22	H23	H24	H25
	緊急	畜産課	レフョン 関連:取組12	妥当	成未があった	効率的	廃.	止	-	1,470	-	-
					事業概						- 色状況•成身	果
	ul æ			震災により, 家畜飼料を	飼料保管施設 加理する	と等において!	腐敗した			生)分 11社 生)分 3社	49,600 m ³ 1,170 m ³ 3	を処理
	地震業	被災飼料処理事	109,334		C-1 / 0°			(2)	UZ-113 (*IIIL-31Z-11	2//3 012	1,110111	27071
14		_										
	1 7	農林水産部		①必要性	争業0 ②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度 <i>0</i>) 古向性	年度	医別決算(身	見込)額(千	円)
	臣又		ビジョン		成果があっ				H22	H23	H24	H25
	緊急	畜産課	関連:取組6	妥当	た	効率的	廃.	止	_	109,334	-	_
					事業概						色状況•成績	-
	安玄	·衛生施設·備品等			あった家畜保 予防事業及び						地方振興事 《畜保健衛生	
	整備		8,062	実施するため	かの検査機器	等の復旧を行	īð.	器)の検	ê査機器等∅	の再整備を行	テった。	
15												
	n				 事業 <i>0</i>	D分析結果						
	18	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0.	方向性	年度	を別決算(り	見込)額(千	-円)
	緊急	畜産課	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	廃.	ıŀ	H22	H23	H24	H25
	急	(HF)*	関連:取組6	Δ I	た き ****	22.1.2	/76-	- 	-	8,062	-	_
				本県の農業	事業相 生産力につい		の凍やか	•被災1			色状況・成場 うち16件が行	
	農業	試験研究施設等		な回復と今後	後の発展を支	えるため、甚っ	大な被害				手度に繰り起	
	復旧	事業	27,731	を受けた農 ^身 る。		設等の早期で	見旧を凶					
16												
	0	曲井小女女			事業の	D分析結果		<u> </u>	<i>-</i>		∃ '1 \ ₺≠ / ~	.ш.
	20	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	牛 	· 別	見込)額(千 -	· i i)
	緊	農業振興課	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	廃	止	H22	H23	H24	H25
	急		関連:取組6		た事業					27,731	- 佐米:ローサ!	<u>-</u> ■
				震災により被	事業 概 客害を受けた産		旧と営農	津波初			も状況・成り 句けた研究に	-
		農地における早期		再開を図るだ	こめ,津波被り の実態調査と	&農地及び放	射性物	成果とし	て普及技術	f1件「海水	流入土壌に	おける塩素
	復興	!技術の開発事業	6,647	対策を確立	ッ 大 忠明国と する。	L4 U(LX) 9 〇	成末1211	おけるオ	k稲作付ける	のための代え	2件「津波被かき除塩のダ	
17								及情報:	3件をとりまる	とめた。		
	0	農林水産部			事業0	D分析結果			左中	F则选管/6		- III)
	21	反怀小性叩		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	方向性	干片	マツス昇い	元22/領(十	17/
	緊	農業振興課	ビジョン	妥当	成果があった	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
1	急		関連:取組6		/⊆				-	6,647	_	_

					事業権	既要			平成23:	年度の実施	施状況・成 ∮	果
18	経営改善計 援事業	 画策定支	531	事業計画及		なび経営継続(十画等の作成)		•支援紹	医営体数7件			
	@	. ** **			事業の	の分析結果			4 H		日13、好/で	· m \
	01 農林水	〈産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	牛尽	を別決昇(.	見込)額(千	-H)
	緊 農林水急 援課	く産経営支	ビジョン 関連:取組6	妥当	ある程度 成果があっ た	概ね効率的	維持	诗	H22 -	H23 531	H24 -	H25 -
					事業権						拖状況・成 ∮	-
19	青年農業者推進事業	育成確保	11,719	で地元でので	営農が不可能 東日本大震災 置し, 雇用や営 う。	を図るとともに ととなった被災 炎早期営農再 食農再開に向け	農業者の盟支援セ	を設置で	するとともに	, 県外の求	営農再開支技 人や移転営 する相談体制	農受入情
	❷ 02 農林水	く産部		@ N # bil	_	の分析結果			年度	を別 決 算()	見込)額(千	-円)
	02		ビジョン	①必要性	②有効性 ある程度	3効率性	次年度の	万回性	H22	H23	H24	H25
	緊 農業扱	長興課	Eンョン 関連:取組10	概ね妥当	成果があった	概ね効率的	維持	诗	-	11,719	-	-
					事業相						- 拖状況•成∮	
20	耕作放棄地 事業	2活用支援	0			:人が,県内の 開する取組に			た農業者が開する取組の		作放棄地を活 爰した。	舌用して営
	03 農林力	く産部			事業の	の分析結果			在 6	三日 (見込)額(千	-四)
	03	() <u>T</u> HIP		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性			1	
	緊 農業排	長興課	ビジョン 関連:取組6	妥当	成果があっ た	_	維持	诗	H22 _	H23	H24 _	H25 _
-	Ú		1X1X= 1 - X1 == 0									
					事業権	L 既要			平成23:	年度の実施	▲ 施状況·成績	果
21	農業人材育	『成事業	11,334	促進を通じてもに,高度な	先進農家等に て被災者の生 生産技術や編	【 既要 こおける被災え 活再建を支援 経営手法を習 ・ 育成を図る。	するとと 得して本	被災者	平成23: f雇用人数		」 徳状況・成∮	工
21	2		11,334	促進を通じて もに, 高度な 県で就農する	先進農家等に に被災者の生 生産技術や紀 る人材の確保 事業の	こおける被災者 活再建を支援 経営手法を習 ・育成を図る。 か分析結果	するとと 得して本		汗 雇用人数	10人		
21	20 農林才		,	促進を通じてもに,高度な	先進農家等に で被災者の生 生産技術や終 る人材の確保 事業の ②有効性	こおける被災者 活再建を支援 経営手法を習 ・・育成を図る。	するとと 得して本		作展用人数 年 月	10人	見込)額(千	-円)
21	2	〈産部	11,334 ビジョン 関連: 取組10	促進を通じて もに, 高度な 県で就農する	先進農家等に に被災者の生 生産技術や紀 る人材の確保 事業の	こおける被災者 活再建を支援 経営手法を習 ・育成を図る。 か分析結果	するとと 得して本	方向性	汗 雇用人数	10人		
21	2004 農林力	〈産部	ビジョン	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	先進農家等に で被災者の生 生産技術や終 る人材の確保 事業の ②有効性 成果があっ	における被災表 活再建を支援 経営手法を習 ・・育成を図る。 の分析結果 ③効率性 効率的	するとと 得して本 次年度 の	方向性	千雇用人数 年 店 H22	10人 E別決算(H23 11,334	見込)額(千	-円) H25 -
22	2004 農林力	《産部 長興課 『災農林業	ビジョン	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	先進農家等に で被災者の生 生産技術や終 る人材の確保 事業の でで、 事業があった 事業があった 事業があった。 事業があった。 事業があった。 事業があった。 事業があった。 は進及で電力は株 事故に対して、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	における被災表 活再建を支援 経営手法を習 ・・育成を図る。 の分析結果 ③効率性 効率的	するとと 得して本 次年度の 廃」 [を図るた 等一原害を る損害を	・東日本 等の実	年度 H22 - 平成23: 大震災農林 施(8回)	10人 E別決算 (H23 11,334 年度の実 木業災害対	見込)額(千 H24 -	F円) H25 - 果 の説明会
	② 農林 水 農業 排 大	《産部 長興課 髪災農林業 景金利子補	ビジョン 関連:取組10	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ①必要性 妥当 災害復旧の(め、震災及て 力発電所の) 受けた農林	先進農家等に 一被災者の生 生産技術や経 る人材の確保 事業の でででである。 事業をである。 な、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	こおける被災表 活再建を支援 経営手法を図る。 の分析結果 の分析結果 効率的 数要 はの会社と では、 の会社と の会に の会に の会に の会に の会に の会に のの会に のの会に のの会に	するとと 得して本 次年度の 廃」 [を図るた 等一原害を る損害を	シ方向性 ・東日本 等の実 ・H23 イ	年度 H22 - 平成23: 大震災農林 施(8回) 昔入申込み	10人 E別決算(H23 11,334 年度の実 林業災害対 19件 10	見込)額(千 H24 一 一 他 状況・成 9 策資金制度	F円) H25 - 果 の説明会 (3月まで)
22	20 機林水 農株 株井 農株 大策 日害事 農株 20 緊 日害事 農株 日常事 農株 日本対業 農株 日本対策 農株 日本対策 農株 日本対策 農株 日本対策 財政 日本対策 財政 <	《産部 長興課 髪災農林業 景金利子補	ビジョン 関連:取組10	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ①必要性 妥当 災害復旧の付め、震災及び 力発電所のご受けた農林的な融通を図る	先進農家等に 大被災技術の確保 全生生人材の確保 全生生人材の確保 全生生人材の確保 全力を の力があった。 事業に では、事業にに対して、 事業にに対して、 の力のでは、 の力のでは、 の力のでは、 の力のでは、 の力のでは、 のので	こおける被災表 活再建たを支援 を支援 をすが、 の分析結果 の分析結果 効率的 の会停害 の分析結果 の会のでは、 の会のでは、 の会のでは、 の会のでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 ののののののでは、 のののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 のののののののでは、 のののののののでは、 のののののののでは、 のののののののでは、 ののののののでは、 ののののののののでは、 のののののののでは、 のののののののでは、 ののののののののでは、 ののののののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののののでは、 のののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 ののののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のののでは、 のので、 の	するとと 得して本 次年度の 廃 [を図るた 等一 順害を 金の円滑	・東日本 ・東日本 ・H23 (年度 H22 - 平成23: 大震災農林 施(8回) 昔入申込み	10人 E別決算(H23 11,334 年度の実 林業災害対 19件 10	見込)額(千 H24 一 を状況・成身 策資金制度 08,350千円	F円) H25 - 果 の説明会 (3月まで)
22	20 機林水 農株 株井 農株 大策 日害事 農株 20 緊 日害事 農株 日常事 農株 日本対業 農株 日本対策 農株 日本対策 農株 日本対策 農株 日本対策 財政 日本対策 財政 <	《産部長興課長 受農林業務金利子補	ビジョン 関連: 取組10 89	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ①必要性 妥当 災害復旧のな が、震災及び 力発電所のご 受けた農林がな な融通を図る ①必要性	先進農家等に 大被災技術の確保 生生を主体のでは 生生を主体のでは 生生を主体のでは ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 ・ 本でいる。 ・ 本でいる。 ・ 本でいる。 ・ 本でいる。 ・ 本でいる。 ・ 本でいる。 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	こおける被災 活再建 活再建 活再 会育成を図る。 の分析 効本 効本 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会	するとと 得して本 次年度の 廃 「を図るた 等一県害を 金の円滑	・東日本 ・東日本 ・H23 (年度 H22 - 平成23: 大震災農村 施(8回) 昔入申込み 年度 H22 -	10人 E別決算(人 11,334 年度の実施 未業災害対 19件 10 E別決算(人 H23 89	見込)額(千 H24 一 を状況・成身 策資金制度 08,350千円	F円) H25 - 果 の説明会 (3月まで) F円) H25 - 円)
22	20 機林水 農株 株井 農株 大策 日害事 農株 20 緊 日害事 農株 日常事 農株 日本対業 農株 日本対策 農株 日本対策 農株 日本対策 農株 日本対策 財政 日本対策 財政 <	《產部 長興課 受農林子 《產 在 経 堂 支 一 本 業 災 害 対	ビジョン 関連: 取組10 89 ビジョン 関連: 取組11	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ①必要性 妥当 災害復災所のご 受計が通過を図る ②必要性 妥当 災害復災所のご 受計が通過を図る ②必要性 妥当	先進農者(大きな) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	こおける被災 活再建 活再建 活再 会育成を図る。 の分析 効本 効本 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会 の会	するとと本 次年度の 廃」 変図原書円 次年度の 次年度の を図原書円 次年度の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変	・東日本 ・・東日本 ・H23 (・市町へ	年度 H22 - 平成23: 大震災農林 施(8回) 昔入申込み 年度 H22 - 平成23: ででである。	10人 E別決算(11,334 年度の実施 末業災害対 19件 10 E別決算(H23 89 年度の実施	見込)額(千 H24 - 施状況·成身 策資金制度 98,350千円 見込)額(千 H24 -	ー円) H25 - 果 の説明会 (3月まで) ー円) H25 -
22 -1	② 04 緊急 農農 大策 大策 長援 村金 世景 農援 村金 世景 世景 本対業 農援 村金 世界 世界 世界 日本 日本 日本 </th <th>〈產 與 (資金 (產 (產 (產 (基) (基) (基) (基)</th> <td>ビジョン 関連: 取組10 89 ビジョン 関連: 取組11</td> <td>促進を高度な 通にない。 (1)必要性 妥当 災害震気が、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の のが、 変数の のが、 変数の のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが</td> <td>先進祭を保保 ・主要を ・、一定を ・主要を ・、一定を ・主要を ・、一定を ・ 一定を ・ 一定を ・一定</td> <td> Table Ta</td> <td>するとと本 次年度の 廃国の原書円 次年度の 廃国の原書円 次年度の 終国の を図原書円 次年度の を図の のの のの のの のの のの のの のの のの のの</td> <td>・東日本等の実・H23 付 ・H23 付</td> <td>年度 H22 - 平成23: 大震災回 計入申込み 年度 H22 - 平成23: で成23: での普申込み</td> <td>10人 E別決算(H23 11,334 年度の実施 本業災害対 19件 10 E別決算(H23 89 年度の実施 19件 10</td> <td>見込)額(千 H24 一 を状況・成身 第350千円 見込)額(千 H24 一 を状況・成身</td> <td>H25 - 果 の説明会 (3月まで) H25 - 果 (3月まで)</td>	〈產 與 (資金 (產 (產 (產 (基) (基) (基) (基)	ビジョン 関連: 取組10 89 ビジョン 関連: 取組11	促進を高度な 通にない。 (1)必要性 妥当 災害震気が、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の でが、 変数の のが、 変数の のが、 変数の のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが	先進祭を保保 ・主要を ・、一定を ・主要を ・、一定を ・主要を ・、一定を ・ 一定を ・ 一定を ・一定	Table Ta	するとと本 次年度の 廃国の原書円 次年度の 廃国の原書円 次年度の 終国の を図原書円 次年度の を図の のの のの のの のの のの のの のの のの のの	・東日本等の実・H23 付 ・H23 付	年度 H22 - 平成23: 大震災回 計入申込み 年度 H22 - 平成23: で成23: での普申込み	10人 E別決算(H23 11,334 年度の実施 本業災害対 19件 10 E別決算(H23 89 年度の実施 19件 10	見込)額(千 H24 一 を状況・成身 第350千円 見込)額(千 H24 一 を状況・成身	H25 - 果 の説明会 (3月まで) H25 - 果 (3月まで)
22 -1	204 緊急 東災給 205 緊急 市策事 農農 本対業 農援 村金 農場 世資業 農場 日害事 農援 村金 農場 農場 日常事 農場 日常事 農場 日常事 農場 日本財 日本財	〈產 與 (資金 (產 (產 (產 (基) (基) (基) (基)	ビジョン 関連: 取組10 89 ビジョン 関連: 取組11	促進を通じてもに、高度な 県で就農する ①必要性 妥当 災害復災所ので が、発電農のので が、発生を図る ののででは、 ののでででは、 ののでででは、 ののででででででででででででででででででででででででででででででででででで	先進段を 推り、 大連段を 大連り 大連段を 大連りる 大連段を 大連りる 大連段を 大連りを 大連段を 大連段を 大連段を 大連段を 大連段を 大連段を 大連段を 大連段を 大連を 大連を 大連りを 大連を 大連と 大連段を 大連を 大連を 大連を 大連を 大連を 大連を 大連を 大連	こおけ建きで の分3 か分3 効率 おお再手手をを持て の分3 かかっ 要 おおけますが おおります 大方の 3 かっ の会に 大方の 3 大方の 3 大方の 3 大方の 3 大方の 4 大方の	するとと本 次年度の 廃」 変図原書円 次年度の 次年度の を図原書円 次年度の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変の 変	・東日本等のま・H23 (・・市町へ・H23 (年度 H22 - 平成23: 大震災回 計入申込み 年度 H22 - 平成23: で成23: での普申込み	10人 E別決算(H23 11,334 年度の実施 本業災害対 19件 10 E別決算(H23 89 年度の実施 19件 10	見込)額(千 H24 - 施状況・成乳 策資金制度 08,350千円 見込)額(千 H24 - 極状況・成乳	H25 - 果 の説明会 (3月まで) H25 - 果 (3月まで)

					事業概	要			平成23	年度の実施	拖状況•成∮	果
				2 4 H 124 11	促進及び経営	の維持・回復			金制度説明	明会の開催		.14
		泛資金利子補給(農		農林業の復	り被害を受け 旧に必要な資				≒市町村配分 3年度融資3			
	林業	€)	0	る。	山(已紀)女(古具	▼ ^ > 11 H. 空世		1 /3/22		人が見られる		
23	1											
	0	曲井小女如			事業の	の分析結果			左岸		目 11 ~ 佐 / イ	·ш)
	06	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	を別 次昇()	見込)額(千	-H)
		農林水産経営支	ビジョン	概ね妥当	成果が	_	廃」	Ŀ	H22	H23	H24	H25
-	急	援課	関連:取組11		なかった	T AT			- Tr C 0 0	<u>0</u> ケ麻の中は		-
				震災により割	事業概念の		盤に被害	交付事	平成23: 續10市町,		拖状況•成身	未
	畜舎	含等施設整備支援		を受けた生産	産者が農業生	産力を維持す	つるため,		≥額75,505千			
	対策	货事業	75,505	管理用施設	新たな生産開 等を整備する	炉に必要なる ための経費を	★ 歯 助 養 ・ 補 助 す					
24				る。								
	Ø				事業の	の分析結果						
	80	農林水産部	4①4に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	を別決 算()	見込)額(千	-円)
	緊	畜産課	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	維持	寺	H22	H23	H24	H25
	急	四年杯	関連:取組6	27	た	7,7 1 . •	小吐了	,		75,505		
				浄池によって	事業 相 二農地•農業用		めた対字	油油加			拖状況・成 ∮ 上事業負担金	
	津波	皮被害土地改良区		を受けた国営	営土地改良事	業地区に係る	5地元負	出来なる	かった土地	改良区に対	し無利子融資	資を行った
		還支援事業	18,000	担金について土地改良区	て,賦課金徴り に対して支援	仅に見通しが する。	付かない				も区の支払か を軽減できた	
25								. , .				
	Ø				事業の	の分析結果						
	10	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	を別決算()	見込)額(千	-円)
	緊	農村振興課	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	維扎	去	H22	H23	H24	H25
	急	及门城兴林	関連:取組11	д ¬	た	//J T H J	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	9	-	18,000	-	-
											- II II	_
				被災地域の	事業根豊業の再生を		SSIZ FN	補助支		年度の実施	拖状況・成身	果
	農業	美団体被災施設等		甚大な被害	農業の再生を を受けた農業	·図るため,震 団体(協同組	合等)の	•補助対	平成23年 十象:8団体	年度の実施	拖状況•成∮	果
		^美 団体被災施設等 皇整備支援事業	76,965	基大な被害を 施設・設備等	農業の再生を	·図るため,震 団体(協同組	合等)の	•補助対		年度の実施	拖状況・成∮	果
26	再建		76,965	基大な被害を 施設・設備等	農業の再生を を受けた農業 等の再建を支持	·図るため,震 団体(協同組	合等)の	•補助¾		年度の実績	包状況・成∮	果
26	再建	書整備支援事業	76,965	基大な被害を 施設・設備等	農業の再生を を受けた農業 その再建を支持 ・強化を図る。	·図るため,震 団体(協同組	合等)の	・補助対	大象:8団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
26	再建		76,965	基大な被害を 施設・設備等	農業の再生を を受けた農業 その再建を支持 ・強化を図る。	図るため,震 団体(協同組 爰し,当該団(合等)の		大象:8団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		包状況·成身	
26	再建 2 11 緊	農林水産部農林水産経営支	ビジョン	甚大な被害? 施設・設備等 基盤の復興	農業の再生を を受けた農業 ・の再建を支技・ ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があっ	図るため, 震団体(協同組 受し, 当該団体の の分析結果	合等)の本の運営	方向性	大象:8団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	₹別決算(<u></u> H23		
26	再建 2 11 緊	農林水産部		甚大な被害? 施設・設備等 基盤の復興 ①必要性	農業の再生を を受けた農業 いの再建を支払 ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があった	図るため, 震団体(協同組 受し, 当該団(のない) 当該団(のない) かい では、 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。	合等)の 本の運営 次年度の	方向性	### ### #############################	を別決算(<u></u> H23 76,965	見込)額(千 H24 -	-円) H25 -
26	再建 2 11 緊	農林水産部農林水産経営支	ビジョン	甚大な被害で施設・設備等基盤の復興 ・記集型の復興 ・①必要性 ・妥当	農業の再生を を受けた農業 の再建を支払 ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があった 事業概	図るため, 震団体(協同組 受し, 当該団の の分析結果 ③効率性 効率的	合等)の 本の運営 次年度の 維持	沙方向性 寺	年度 H22 - 平成23:	を別決算(! H23 76,965 年度の実が	見込)額(千 H24 - を状況・成身	- 円) H25 - 果
26	再 2 11 緊急	農林水産部農林水産経営支	ビジョン	表大な被害を 施設・設備等 基盤の復興 ①必要性 妥当 基大な津波 するに当たり	農業の再生を を受けた農業 の再建を支払 ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があった 事業根 被害区域にとに り、地域ごとに	図るため, 震団体(協同組 選し, 当該団体 の分析結果 ③効率性 効率的 び要 いてな農業を	合等)の 本の運営 次年度の 維持 学で復旧 可能とす	シ方向性 寺 ・用排か	年度 H22 - 平成23: 調査,基本	医別決算(! H23 76,965 年度の実 計画作成	見込)額(千 H24 -	-円) H25 - 果 战市)
26	再 2 11 緊急	農林水産部農林水産経営支援課	ビジョン	甚大な被害を施設・設備等基盤の復興 ①必要性 妥当 基大な当たりる実施計画の	農業の再生を を受けた農業 の再建を支払 ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があった 事業根 被害区域にお	図るため, 震団体(協同組)	合等)の本の運営 次年度の 維持 2を復能は域に ですり、地域は	シ方向性 寺 ・用排か	年度 H22 - 平成23: 調査,基本	医別決算(! H23 76,965 年度の実 計画作成	見込)額(千 H24 H25 を状況・成り 1件(多賀場	-円) H25 - 果 战市)
26	再 2 11 緊急	農林水産部農林水産経営支援課	ビジョン 関連:取組6	甚大な被害を施設・設備等基盤の復興 ①必要性 妥当 基大な当たりる実施計画の	農業の再生をを受けた農業の再生をを受けた農業のの再生を支持・強化を図る。 事業のの事業のでは、 事業のでは、 事業のでは、 事業のでは、 事業には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	図るため, 震団体(協同組)	合等)の本の運営 次年度の 維持 2を復能は域に ですり、地域は	シ方向性 寺 ・用排か	年度 H22 - 平成23: 調査,基本	医別決算(! H23 76,965 年度の実 計画作成	見込)額(千 H24 H25 を状況・成り 1件(多賀場	-円) H25 - 果 战市)
	再 21 緊急 農業 3	農林水産部農林水産経営支援課	ビジョン 関連:取組6	甚大な被害を施設・設備等基盤の復興 ①必要性 妥当 基大な当たりる実施計画の	農業の再生を を受けた農業の再生を を受けた農業 ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があっ ・ 事域に必要を はずいでは がまえて 事業に で がまた を 要して を を の 事業に を の 事業に を の 事業に を の 事 の 事 の も の も の も の も の も の も の も り り 、 り 、 り の り の も り り り り り り り り り り り り り り り	図るため, 震団体(協同組)	合等)の本の運営 次年度の 維持 2を復能は域に ですり、地域は	シ方向性 寺 ・用排か	年度 H22 - 平成23: 調査, 基本 E理事業の自	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 未画作成 実施計画策	見込)額(千 H24 - 包状況・成 り 1件(多賀城 定に活用する	-円) H25 - 果 栽市) る。
	再 21 緊急 農業	農林水産部農林水産経営支援課	ビジョン 関連:取組6	甚大な被害を施設・設備等基盤の復興 ①必要性 妥当 基大な当たりる実施計画の	農業の再生を を受けた農業の再生を を受けた農業 ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があっ ・ 事域に必要を はずいでは がまえて 事業に で がまた を 要して を を の 事業に を の 事業に を の 事業に を の 事 の 事 の も の も の も の も の も の も の も り り 、 り 、 り の り の も り り り り り り り り り り り り り り り	図るため, 震団体(協該団体) (協議) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係	合等)の本の運営 次年度の 維持 2を復能は域に ですり、地域は)方向性 寺 ・用排水 ・区画虫	年度 H22 - 平成23: 調査, 基本 E理事業の自	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 未画作成 実施計画策	見込)額(千 H24 H25 を状況・成り 1件(多賀場	-円) H25 - 果 栽市) る。
	再 21 緊急 農業 301 緊	農林水産部農林水産経営支援課	ビジョン 関連: 取組6 4,965	甚大な被害を 施設・設備等 基盤の復興 ①必要性 妥当 基大なに対する まの意向を といる といる といる といる といる といる といる といる といる といる	農業の再生を を受けた農業の再生を を受けた建図る。 事業の ②有効性 成果があった 事業に ではごが実施 ではごが実施 ですまえて 事業の でする。	図るため, 震団体(協同組 受し, 当該団体 の分析結果 の分析結果 の対象率的 の変がない。 ののでは、農業を といる。 のののでは、 の。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 の。 の。 のので。 の。 のので。 のの。 のの。 のの。 のの。 の。 のの。 の	合等)の本の運営 次年度の 維担を復旧 ででででである。	・ ・ ・用排水 ・ ・ ・ ・ の 方 向性	年度 H22 - 平成23: 調査, 基本 E理事業の自	世別決算(! H23 76,965 年度の実施 計画作成 実施計画策 世別決算(!	見込)額(千 H24 - 包状況・成 り 1件(多賀城 定に活用する	-円) H25 - 果 栽市) る。
	再 2 11 緊急 農業 3 01	農林水産部農林水産経営支援課 対地域復興支援事	ビジョン 関連: 取組6 4,965	甚大な被害を 施設・設備等 基盤の復興 ①必要性 妥当 を当またい る実の意向を超 ①必要性	農業の再生をを受けた農業の再生をを受けた農業の再生を ・強化を図る。 事業の ②有効性 成果があった。 事業はごと必施。 事業はことのでは、またである。 事業は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	図るため,震組 団体(協該団体 の分析結果 の分析結果 の分析を の分析を の分がのである。 ののでは、 のの	合等)の本の運営 次年度の 維担を復旧 ででででである。 次年度の 次年度の	・ ・ ・用排水 ・ ・ ・ ・ の 方 向性	年度 H22 - 平成23: 調査, 基本 E理事業の分 年度 H22	世別決算(上 H23 76,965 年度の実施 計画作成 実施計画策 世別決算(上 H23 4,965	見込)額(千 H24 - を状況・成り 1件(多質場 定に活用する 見込)額(千 H24 -	- 円) H25 - 果 成市) る。 - 円) H25
	再 21 緊急 農業 301 緊	農林水産部農林水産経営支援課 対地域復興支援事	ビジョン 関連: 取組6 4,965	甚大な被害等を 施設・設備等 基盤の復興 ①必要性 妥当 基大なに計画の を で ると のので で のので で のので のので のので のので のので のので のの	農業の再生を を受けた農業の再生を を受けたを受いる。 事業性 成果があった。 事業はごと必必施 がまえてて実施 のでである。 事業はことのである。 事業はことのである。 事業はことのである。 事業のである。 事をである。 事業のである。 事をである。 第をでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	図るため,震組受し、当該団体(協該団体) 分析結果 の分析 熱率 的 要 は、農と かったな で は と かった	合等)の 本の運営 次年度の 維担 を復能地域 次年度の 廃」	方向性 寺 ・用排水車 ・区画響	年度 H22 - 平成23: 調査, 基本 理事業の分 年度 H22 - 平成23:	を別決算(上 H23 76,965 年度の実施 計画作成 実施計画策 を別決算(上 H23 4,965 年度の実施	見込)額(千 H24 - を状況・成勢 1件(多賀城 定に活用する	-円) H25 - 果 対市) る。 -円) H25 -
	再 2 11 緊急 農業 3 01 緊急 農地	書整備支援事業 農林水産部 農林水産経営支援 対地域復興支援事 農林水産部 農村振興課 也復旧支援調査計	ビジョン 関連: 取組6 4,965	甚大な被害等 施基盤の (1) 必要性 要性 要性 要性 要性 要性 要性 の必要性 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	農業の再生を を受けたという。 事業の ②有がある。 事業性の 成果がた事域に必必施 を実施して実施。 では、のでは、というでは、できる。 では、このでは、できる。 では、このでは、できる。 では、このでは、できる。 では、このでは、できる。 では、このでは、できる。 では、このでは、できる。 できる。 できる。 では、このでは、できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	図るため、同様と は は は は ない は は は は は は は は は は は は は は	合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。	方向性 ・・ ・方向性 ・	年度 H22 - 平成23: 調査, 基本 経理事業の到 年度 H22 - 平成23: ま本 を理事業の到	を別決算(上 H23 76,965 年度の実施 計画作成 実施計画策 を別決算(上 H23 4,965 年度の実施 を関決算(上 は、)	見込)額(千 H24 - を状況・成り 1件(多質サン 見込)額(千 H24 - を状況・成り でに活用する	-円) H25 - 果 成市) る。 -円) H25 - 果
	再 211 緊急 農業 301 緊急	書整備支援事業 農林水産部 農林水産経営支援 対地域復興支援事 農林水産部 農村振興課 也復旧支援調査計	ビジョン 関連: 取組6 4,965	甚大な設備等施基盤の企要性基大なに施意企要性基大なに施意企必要性基大なに施意企必要性企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業<li< td=""><td>農業の再生を を受けたを受けたを いの再とででである。 事業性 成果がた。事業にと必必施 がまった。 事業は でのいる。 事業は でのいる。 事業は でのいる。 事業に でのいる。 事業に でのいる。 のである。 事業に でのいる。 のである。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも</td><td>図るため、同様と は は は は は ない は は は は は は は は は は は は は</td><td>合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。</td><td>・方向性 ・・ ・方向性 ・・ ・方向性 ・・ ・・ ・</td><td>### ### ### ### #####################</td><td>を別決算(! H23 76,965 年度の実施 計画作成策 を施計画策 を放ける。 4,965 年度の実施 本表面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年</td><td>見込)額(千 H24 - を状況・成男 たに活用する 記し、 こし、 記し、 こし、 記し、 記し、</td><td>-円) H25 - 果 域市) る。 -円) H25 - 果</td></li<>	農業の再生を を受けたを受けたを いの再とででである。 事業性 成果がた。事業にと必必施 がまった。 事業は でのいる。 事業は でのいる。 事業は でのいる。 事業に でのいる。 事業に でのいる。 のである。 事業に でのいる。 のである。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも	図るため、同様と は は は は は ない は は は は は は は は は は は は は	合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。	・方向性 ・・ ・方向性 ・・ ・方向性 ・・ ・・ ・	### ### ### ### #####################	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 計画作成策 を施計画策 を放ける。 4,965 年度の実施 本表面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	見込)額(千 H24 - を状況・成男 たに活用する 記し、 こし、 記し、 こし、 記し、 記し、	-円) H25 - 果 域市) る。 -円) H25 - 果
	再 2 11 緊急 農業 3 01 緊急 農画	書整備支援事業 農林水産部 農林水産経営支援 対地域復興支援事 農林水産部 農村振興課 也復旧支援調査計	ビジョン 関連: 取組6 4,965 ビジョン 関連: 取組6	甚大な設備等施基盤の企要性基大なに施意企要性基大なに施意企必要性基大なに施意企必要性企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業<li< td=""><td>農業の再生を を受けたという。 事業の での再生を をでの再をでする。 事業性 成果がた事域にと必施。 事効があった。 事業に でのでは、 ではない。 事効がある。 事業に でのでする。 を でのでで、 を でので、 を でので、 を でので、 を でので、 を を でので、 を で を で を で を で を で を で を で を で を で を</td><td>図るため、同様と は は は は は ない は は は は は は は は は は は は は</td><td>合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。</td><td>方向性 ・・ ・・ 方向 上 被件計島 ・・ で ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・・ ・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>### ### ### ### #####################</td><td>を別決算(! H23 76,965 年度の実施 計画作成策 を施計画策 を放ける。 4,965 年度の実施 本表面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年</td><td>見込)額(千 H24 - を状況・成り 1件(多質サン 見込)額(千 H24 - を状況・成り でに活用する</td><td>-円) H25 - 果 域市) る。 -円) H25 - 果</td></li<>	農業の再生を を受けたという。 事業の での再生を をでの再をでする。 事業性 成果がた事域にと必施。 事効があった。 事業に でのでは、 ではない。 事効がある。 事業に でのでする。 を でのでで、 を でので、 を でので、 を でので、 を でので、 を を でので、 を で を で を で を で を で を で を で を で を で を	図るため、同様と は は は は は ない は は は は は は は は は は は は は	合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。	方向性 ・・ ・・ 方向 上 被件計島 ・・ で ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・・ ・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	### ### ### ### #####################	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 計画作成策 を施計画策 を放ける。 4,965 年度の実施 本表面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度の実施 本面である。 年度のまた。 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	見込)額(千 H24 - を状況・成り 1件(多質サン 見込)額(千 H24 - を状況・成り でに活用する	-円) H25 - 果 域市) る。 -円) H25 - 果
27	再 2 1 緊急 農業 3 0 緊急 農画 3	整備支援事業 農林水産部 農林水産経営支 機林水産経営支 地域復興支援事 農林水 展 農村振興課 也復業	ビジョン 関連: 取組6 4,965 ビジョン 関連: 取組6	甚大な設備等施基盤の企要性基大なに施意企要性基大なに施意企必要性基大なに施意企必要性企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業<li< td=""><td>農業の大きな。 事業性の大きなる。 「中央を変更のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般</td><td>図るため、同様と は は は は は ない は は は は は は は は は は は は は</td><td>合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。</td><td>方向性 ・・ ・・ 方向 上 被件計島 ・・ で ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・・ ・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>### ### ### ### ### ### #### #########</td><td>を別決算(! H23 76,965 年度の実施 本計画策 上記 4,965 年度の実機 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記</td><td>見込)額(千</td><td>-円) H25 - 果 表市) る。 -円) H25 - 果 素想作成 多賀城市, 実施計画</td></li<>	農業の大きな。 事業性の大きなる。 「中央を変更のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	図るため、同様と は は は は は ない は は は は は は は は は は は は は	合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。	方向性 ・・ ・・ 方向 上 被件計島 ・・ で ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・・ ・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	### ### ### ### ### ### #### #########	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 本計画策 上記 4,965 年度の実機 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記	見込)額(千	-円) H25 - 果 表市) る。 -円) H25 - 果 素想作成 多賀城市, 実施計画
27	再 2 1 緊急 農業 3 0 緊急 農画	整備支援事業 農林水産部 農林水産経営支 機林水産経営支 地域復興支援事 農林水 展 農村振興課 也復業	ビジョン 関連: 取組6 4,965 ビジョン 関連: 取組6	甚大な設備等施基盤の企要性基大なに施意企要性基大なに施意企必要性基大なに施意企必要性企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業企業<li< td=""><td>農業の大きな。 事業性の大きなる。 「中央を変更のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般</td><td>図るため、同番を (協該 団体 (協) の (場) の (</td><td>合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。</td><td>方向性 ・・・ ・・ 方向性 ・・ ・・ 方向性 ・・ ・・ ・</td><td>### ### ### ### ### ### #### #########</td><td>を別決算(! H23 76,965 年度の実施 本計画策 上記 4,965 年度の実機 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記</td><td>見込)額(千 H24 - を状況・成男 たに活用する 記し、 こし、 記し、 こし、 記し、 記し、</td><td>-円) H25 - 果 表市) る。 -円) H25 - 果 素想作成 多賀城市, 実施計画</td></li<>	農業の大きな。 事業性の大きなる。 「中央を変更のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	図るため、同番を (協該 団体 (協) の (場) の (合等)の営 次年度の 維担 を復能域 に農 変を復し、る。	方向性 ・・・ ・・ 方向性 ・・ ・・ 方向性 ・・ ・・ ・	### ### ### ### ### ### #### #########	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 本計画策 上記 4,965 年度の実機 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記	見込)額(千 H24 - を状況・成男 たに活用する 記し、 こし、 記し、 こし、 記し、 記し、	-円) H25 - 果 表市) る。 -円) H25 - 果 素想作成 多賀城市, 実施計画
27	再 2 1 緊急 農業 3 0 緊急 農画 3	整備支援事業 農林水産部 農林水産経営支 機林水産経営支 地域復興支援事 農林水 展 農村振興課 也復業	ビジョン 関連: 取組6 4,965 ビジョン 関連: 取組6	表 大な設復 要性	農業のたいでは、 事業性のたいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	図団 () () () () () () () () () (合本の (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の)	ク方向性 ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・	### ### ### ### ### ### #### #########	を別決算(! H23 76,965 年度の実施 本計画策 上記 4,965 年度の実機 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記 本記	見込)額(千	-円) H25 - 果 表市) る。 -円) H25 - 果 素想作成 多賀城市, 実施計画

					+ ** 10	or ===				F # 6 # +	<i>⊱</i>	-
				昼巛りょといせ	事業相		- 0 44 Hz	復回る			を状況・成績 なるたませた。	
				/		た農業生産力業用施設等の		・復旧刀 旧	必要な農地	Ľ13,000ha⊄	りうち農地5, [*]	780haを復
	東日旧事	3本大震災災害復 ^軍 業		事を実施する		上産基盤の早			た69箇所の	排水機場の	りうち応急工	事等により
	II⊔∓	* 木	10,750,969	図る。						を稼働した。		- (4-1-)
29								・また, [実施し [†]		復旧事業を	実施し施設	の復旧を
-"	8		4①① 再掲		車業/	の分析結果		犬爬い				
	06	農林水産部	40 0 111		T		\ <u> </u>	- 	年度	医別決算()	見込)額(千	-円)
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)万问性				1
		農村振興課,	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
	急	農村整備課	関連:取組6		た				_	10,750,969	-	-
					事業概						拖状況・成身	•
						地域において, ,プランの実					と 害を受けた 作成した。	
		成農業経営再開復 反援事業		農地隹藉築	ことを作成し		5元(二円()				一農地集積等	
	兴义	(坂争未	19,286					取組を	支援した。			
30												
	6				車 坐 /	 の分析結果						
	08	農林水産部		①心無性	т		加左曲 4	\ + -	年度	复别 決 算()	見込)額(千	-円)
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	ノカ内注	1100	1100	1104	1105
	緊	農業振興課	ビジョン	妥当	成果があった	概ね効率的	拡	充	H22	H23	H24	H25
-	急	<u> </u>	関連:取組6				<u> </u>		- -	19,286	- -	
				7th (((Liu L+) -	事業相		5七七二九) 上	. @\$\ (((~			拖状況・成 ∮	
						地や農業生産 材も失うなど、		・農災のみを実力		:大幅に休1	とし,企業誘	致活動の
	農業	美参入推進事業	48	体の農業生	産力の減退が	懸念されるこ	とから、	県外で	農業に参え		般企業2社	を訪問し,
			40	氏則仅質を		生産力の維持の促進に終っ		情報収	集·誘致活動	動を行った。		
31					西性化,催用 参入を推進す	の促進に資す ⁻ る。	(つため),					
	4					の分析結果		<u> </u>				
	01	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	年度	き別決算()	見込)額(千	-円)
	E77		122*_>		ある程度	© <i>∞</i> 7+1±	八十及。	> > 3 I~3 I±	H22	H23	H24	H25
	緊急	農業振興課	ビジョン 関連:取組10	妥当	成果があっ	効率的	維	持	1122	48	1124	1123
	/Ex		因任.机阻10		た					10		
					車業報	班 声			亚成23	年度の宝は	东北:记。成5	Į.
				農業・経営の	事業権		- 施設筌	共同系			を状況・成り 編整備の他	-
	東日	3本大震災農業生		の改修, 再線)早期再生の	既要 ため, 被災した 幾械の再取得		開に必	川用施設の役 要な資機材	复旧及び再の導入を支	編整備の他	-
		日本大震災農業生 対策事業	4,268,436	の改修, 再線 て助成)早期再生の	ため,被災した		開に必	川用施設の行	复旧及び再の導入を支	編整備の他	-
	産対		4,268,436	の改修, 再線 て助成)早期再生の	ため,被災した		開に必	川用施設の役 要な資機材	复旧及び再の導入を支	編整備の他	-
32	産対			の改修, 再線 て助成)早期再生の	ため,被災した		開に必	川用施設の役 要な資機材	复旧及び再の導入を支	編整備の他	-
32	産対	方策事業 	4,268,436 4① ① <u>再掲</u>	の改修, 再線 て助成)早期再生の 扁整備,農業権	ため,被災した		開に必	川用施設の行 要な資機材 定件数 238	复旧及び再 の導入を支 8件	編整備の他	, 経営の再
32	産対	方策事業 		の改修, 再線 て助成)早期再生の 扁整備,農業権	ため,被災した 幾械の再取得		開に必交付決	川用施設の行 要な資機材 定件数 238	复旧及び再 の導入を支 8件	編整備の他	, 経営の再
32	産対 ② 02	方策事業 		の改修, 再線 て助成 ①必要性)早期再生の注 扁整備、農業材 事業の	ため,被災しが 機械の再取得 の分析結果 ③効率性	等に対し 次年度 <i>の</i>	開に必交付決	川用施設の行 要な資機材 定件数 238	复旧及び再 の導入を支 8件	編整備の他	, 経営の再
32	産 ④ ○2 緊	農林水産部	4①① 再掲	の改修,再級で助成	D早期再生の 需整備, 農業相 事業の ②有効性	ため,被災しが 機械の再取得 の分析結果	等に対し 次年度 <i>の</i>	開に必交付決	J用施設の行 要な資機材 定件数 238 年 毎	复旧及び再 の導入を支 8件 を別決算 (編整備の他, 援した。 見込)額(千	,経営の再 -円)
32	産 ④ ○2 緊	農林水産部農産園芸環境課	4① ① <u>再掲</u> ビジョン	の改修, 再線 て助成 ①必要性	D早期再生の 高整備, 農業権 事業の ②有効性 成果があっ	ため,被災した 機械の再取得 の分析結果 ③効率性 概ね効率的	等に対し 次年度 <i>の</i>	開に必交付決	J用施設の行 要な資機材 定件数 238 年 年 日 122	复旧及び再 の導入を支 8件 を別決算 (! H23 4,268,436	編整備の他, 援した。 見込)額(千	,経営の再 -円) H25 -
32	産 ④ ○2 緊	農林水産部農産園芸環境課	4① ① <u>再掲</u> ビジョン	の改修, 再編 て助成 ①必要性 妥当	P 期 再 生 の	ため,被災した 機械の再取得 の分析結果 ③効率性 概ね効率的 既要 るなど生産基別	等に対し 次 年度 の 維: 盤に被害	開に必交付決)方向性 ・交付身	J用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: - - - - - - - - - - - - -	复旧及び再の導入を支 の導入を支 8件 を別決算 (H23 4,268,436 年度の実 62件	編整備の他 援した。 見込)額(千 H24	,経営の再 -円) H25 -
32	産	農林水産部農産園芸環境課、畜産課	4① ① <u>再掲</u> ビジョン	の改修、再編で助成 ①必要性 妥当 震災により音を受けた生産	中期再生の 需整備, 農業権 事業6 ②有効性 成果があった 事業権 活舎が流出する 産者が農業生	ため,被災した 機械の再取得 の分析結果 ③効率性 概ね効率的 で要 るなど生産基別を 進力を維持す	等に対し 次年度 の 維: 盤に被害 るため,	開に必交付決)方向性 ・交付身	J用施設の行 要な資機材 定件数 238 年月 H22 - 平成23:	复旧及び再の導入を支 の導入を支 8件 を別決算 (H23 4,268,436 年度の実 62件	編整備の他 援した。 見込)額(千 H24	,経営の再 -円) H25 -
32	産	農林水産部 農産園芸環境課, 畜産課	4① ① <u>再掲</u> ビジョン	の改修、再編で助成 ①必要性 妥当 震災により音を受けた生産 経営再建や	9早期再生の 高整備, 農業を 事業の ②有効性 成果があった 事業状 済舎が流出する そ者が農業生 新たな生産開	ため,被災した 機械の再取得 の分析結果 ③効率性 概ね効率的 既要 るなど生産基別	等に対し 次年度の 維: 監に被害-る畜飼養	開に必交付決)方向性 ・交付身	J用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: - - - - - - - - - - - - -	复旧及び再の導入を支 の導入を支 8件 を別決算 (H23 4,268,436 年度の実 62件	編整備の他 援した。 見込)額(千 H24	,経営の再 -円) H25 -
	産	農林水産部農産園芸環境課、畜産課	4① ① 再掲 ビジョン 関連:取組6	の改修、再編で助成 ①必要性 妥当 震災により音を受けた生産 経営再建や	9早期再生の 高整備, 農業を 事業の ②有効性 成果があった 事業状 済舎が流出する そ者が農業生 新たな生産開	ため,被災した 機械の再取得 の分析結果 ③効率性 概ね効率的 既要 るなど生産基別 がに必要な 別対に必要な	等に対し 次年度の 維: 監に被害-る畜飼養	開に必交付決)方向性 ・交付身	J用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: - - - - - - - - - - - - -	复旧及び再の導入を支 の導入を支 8件 を別決算 (H23 4,268,436 年度の実 62件	編整備の他 援した。 見込)額(千 H24	,経営の再 -円) H25 -
32	産 30 緊急 畜対	農林水産部農産園芸環境課、畜産課	4① ● 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改修, 再編 で助成 ①必要性 妥当 震災により音を受けた生産 経営理用施設 る。	事業の 事業の ②有効性 成果があった 事業は を著が流農業を を著がな生産する できる数になる。	ため、被災しため、被災した機械の再取得の分析結果 ③効効率性 概ね効率的 要るなど生産持持を変力を必要なきための経費を	等に対し 次年度の 維: 監に被害-る畜飼養	開に必交付決)方向性 ・交付身	J用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: - - - - - - - - - - - - -	复旧及び再の導入を支 の導入を支 8件 を別決算 (H23 4,268,436 年度の実 62件	編整備の他 援した。 見込)額(千 H24	,経営の再 -円) H25 -
	産 ① 2 緊急 畜対 ④	農林水産部 農産園芸環境課, 畜産課 等施設整備支援 等事業	4① ① 再掲 ビジョン 関連:取組6	の改修,再新て助成 ①必要性 妥当 震災により音 を受けた生産 経営理用施設 る。	■ 早期再生の言整備,農業体 事業の ②有効性 成果があった 事業が 活舎が流出する 達者が農業生産 新たな生産する 事業の	ため,被災し7 機械の再取得 の分析結果 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	等に対し 次年度の 維: とに被害、 家畜飼す	開に必次 方向性 特 ・交付付金	川用施設の行 要な資機材 定件数 238 年月 H22 - 平成23 至績10市町, 全額75,505∃	复旧及び再 の導入を支 8件 を別決算 (リ 4,268,436 年度の実 62件 千円	編整備の他 援した。 見込)額(千 H24	-円) H25 -
	産 30 緊急 畜対	農林水産部 農産園芸環境課, 畜産課 等施設整備支援 等事業	4① ● 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改修, 再編 で助成 ①必要性 妥当 震災により音を受けた生産 経営理用施設 る。	事業の 事業の ②有効性 成果があった 事業は を著が流農業を を著がな生産する できる数になる。	ため、被災しため、被災した数。 機械の再取得の分析結果 ③効効率性 概ね効率的 要など生産基準であるなりである。 適分はの経費を がある。	等に対し 次年度の 維: 監に被害-る畜飼養	開に必次 方向性 特 ・交付付金	川用施設の行 要な資機材 定件数 238 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	复旧及び再 の導入を支 8件 を別決算 (リ 4,268,436 年度の実 62件 千円	編整備の他 接した。 見込)額(千 H24 - を状況・成り	- 円) H25 - 果
	産 3 02 緊急 畜対 3 03 緊	農林水産部 農産園芸環境課, 畜産課 等施設整備支援 等事業 農林水産部	4① ① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505	の改修, 再系 で助成 ①必要性 妥当 震災により音 を受けた生産 経営理用施設 る。 ①必要性	中期再生の 需整備,農業 事業 ②有効性 成果があった 事業する を者がな農産所等を整備する 事業は 変有効性 成果がある のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 。	ため,被災し7 機械の再取得 の分析結果 概ね効率的 要 など生産基準 対ための経費を の分析効率性 の分析効率性 の分析効率性	等に対し 次年度の 維: とこででは、 次年度の 本語では、 次年度の 次年度の 次年度の	開に必決 方向性 ・交付付金 ・方向性	川用施設の行 要な資機材 定件数 238 年月 H22 - 平成23 至績10市町, 全額75,505∃	复旧及び再 の導入を支 8件 を別決算 (リ 4,268,436 年度の実 62件 千円	編整備の他 接した。 見込)額(千 H24 ー を状況・成身	-円) H25 -
	産 3 02 緊急 畜対 3 03	農林水産部 農産園芸環境課, 畜産課 等施設整備支援 等事業	4① ① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505	の改修,再新て助成 ①必要性 妥当 震災により音 を受けた生産 経営理用施設 る。	P 期 再 生 の	ため,被災し7 機械の再取得 の分析結果 概ね効率率的 概など生産維要を が対対にの経費を の分別効率性 効率的 効率的	等に対し 次年度の 維: とに被害、 家畜飼す	開に必決 方向性 ・交付付金 ・方向性	川用施設の行要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: 2額10市町, ≥額75,505 = 年度 H22 -	复旧及び再の導入を支 の導入を支 8件 E別決算(」 4,268,436 年度の実 62件 千円 E別決算(」 H23 75,505	編整備の他。 接した。 見込)額(千 日24 一 を状況・成身 見込)額(千 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24	- 円) H25 - 果 - 円) H25 - 円)
	産 3 02 緊急 畜対 3 03 緊	農林水産部 農産園芸環境課, 畜産課 等施設整備支援 等事業 農林水産部	4① ① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505	の改修, 再系 で助成 ①必要性 妥当 震災にたた建産を経管理用施設 る。 ①必要性 妥当	中期再生の言整備,農業体 事業値 ②有効性 成果があった 事業出業生 産者がた整備する 事業値 成果があった 事業が ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ため,被災し7 機械の再取役 か 分析結果 概ね効率率的 要 などを維要を 産力に必必要 を強力に必必を か分 が効 率的 効率的 数 率性	等に対し 次年度の 維にたを調す 次年度の 維になる。 次年度の 維になる。 次年度の 維になる。 次年度の を表する。 をまする。 とまる。 をまる。 とまる。 とまる。 とまる。 とまる。 とまる。 とまる。 とまる。 と	開に必決 ウ 方向性 ・・交付付金 ・・方向性	川用施設の行要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23 - - - - 平成25 - - - 年度 H22 - - 年度 	复旧及び再 の導入を支 8件 E別決算 (1 4,268,436 年度の実 62件 千円 E別決算 (1 423 75,505 年度の実	編整備の他 接した。 見込)額(千 日とないでは、 日という。 日とり。 日という。 日という。 日という。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との	,経営の再 一円) H25 - 果 - 円) H25 -
	産 3 02 緊急 畜対 3 03 緊急	農林水産部 農産課 農本産課 会等施設整備支援 等事業 農林水産部 畜産課	4① ① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505	の改修, 再系 で助成 ①必要性 妥当 震災にけた建産を経管理用施設 る。 ①必要性 妥当	中期再生の言整備,農業体 事業(2)有効性 成果があった 事業出業生産新たを整備する 事業(2)有効性 成果がた要による。 事業(2)有効性 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) 成果があった。 事業(4) の、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この	ため,被災し7 ※ 機	等に対し 次年度の 維: なた。 をでで、 次年度の 維: 次年度の 維: 次年度の (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	開たが ウ 方 向性 ・	川用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年月 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	复旧及び再次の の導入を支 3件 E別決算 (14,268,436 年度の実 が 62件 千円 E別決算 (175,505 年度の実 175,505 年度の実 175,505	編整備の他。 接した。 見込)額(千 日24 一 を状況・成身 見込)額(千 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24 日24	,経営の再 一円) H25 - 果 - 円) H25 -
	産	農林水 魔部 農産 環境課 養	4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改成 (1) 必要性 妥当 震災によりを経理 展 (2) の必要性 妥当 (2) の必要性 妥当 (3) の必要性 妥当 (4) のの (4) のの (5) のの (5	中期再生の 事業備,農業権 事業件 成果があった。 事業の できずたを生産する。 できずたを生産する。 できずたを生産する。 できずたを生産する。 できずたを生産する。 できずたを生産する。 できずたを生産する。 できずたを生産する。 できれた。 事業ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 できれた。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	ため,被災し7 機械の再取役 か 分析結果 概ね効率率的 要 などを維要を 産力に必必要 を強力に必必を か分 が効 率的 効率的 数 率性	等に対し 次年度の 維: にたを飼す 次年度の 維: 次年度の (害っ、養・補助す) 次年度の (害・養・人) 次年度の (害・養・人)	開に必決)方向性 ・交交付付金 ・交交付付金 ・交交付付金	川用施設の行要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23 - - - - 平成25 - - - 年度 H22 - - 年度 	复旧及び再次 の導入を支 8件 H23 4,268,436 年度の実 62件 千円 E別決算 (上 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	編整備の他 接した。 見込)額(千 日とないでは、 日という。 日とり。 日という。 日という。 日という。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との	,経営の再 一円) H25 - 果 - 円) H25 -
	産	農林水産部 農産課 農本産課 会等施設整備支援 等事業 農林水産部 畜産課	4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改断の (1) 必要性 妥当 震災にた建常 (2) 必要性 妥当 (2) 必要性 妥当 (2) 必要性 妥当 (3) である。	中期再生の 事業備,農業 事業件 成果があった。 事業付 成果がたま 事業は を著がた整備する。 できずた整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できれた。 事業による。 できれた。 事業による。 できれた。 をもれた。	ため,被取取 (表	等に対し 次年度の 維: にたを飼す 次年度の 維: 次年度の (害っ、養・補助す) 次年度の (害・養・人) 次年度の (害・養・人)	開に必決)方向性 ・交交付付金 ・交交付付金 ・交交付付金	川用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: 2額75,505 = 年度 H22 - 平成23: 3額8市町, ブロイラー	复旧及び再次 の導入を支 8件 H23 4,268,436 年度の実 62件 千円 E別決算 (上 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	編整備の他 接した。 見込)額(千 日とないでは、 日という。 日とり。 日という。 日という。 日という。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との	,経営の再 一円) H25 - 果 - 円) H25 -
33	産	農林水 魔部 農産 環境課 養	4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改成 (1) 必要性 妥当 震災によりを経理 展 (2) の必要性 妥当 (2) の必要性 妥当 (3) の必要性 妥当 (4) のの (4) のの (5) のの (5	中期再生の 事業備,農業 事業件 成果があった。 事業付 成果がたま 事業は を著がた整備する。 できずた整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できずたを整備する。 できれた。 事業による。 できれた。 事業による。 できれた。 をもれた。	ため,被取取 (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)	等に対し 次年度の 維: にたを飼す 次年度の 維: 次年度の (害っ、養・補助す) 次年度の (害・養・人) 次年度の (害・養・人)	開に必決)方向性 ・交交付付金 ・交交付付金 ・交交付付金	川用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: 2額75,505 = 年度 H22 - 平成23: 3額8市町, ブロイラー	复旧及び再次 の導入を支 8件 H23 4,268,436 年度の実 62件 千円 E別決算 (上 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	編整備の他 接した。 見込)額(千 日とないでは、 日という。 日とり。 日という。 日という。 日という。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との	,経営の再 一円) H25 - 果 - 円) H25 -
	産 3 02 緊急 畜対 3 03 緊急 経援	農林水 魔部 農産 環境課 養	4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改成 (1) 必要性 妥当 震災によりを経理 展 (2) の必要性 妥当 (2) の必要性 妥当 (3) の必要性 妥当 (4) のの (4) のの (5) のの (5	中期再生の言整備,農業体 事業体 ②有効性 成果があった。 事出業産者が農産者がた整備する。 ②有効性 成果が流農生産する ②有効性 成果が高齢を整備する。 ・事出業産子 の軽必要が高齢を変新 でき担似の表面である。	ため,被災し行機 機械の再取得 7)分析 結果 概ね 効 効 を を を を を を を を が が が が が が が が が が が が が	等に対し 次年度の 維: にたを飼す 次年度の 維: 次年度の (害っ、養・補助す) 次年度の (害・養・人) 次年度の (害・養・人)	開に必決)方向性 ・交交付付金 ・交交付付金 ・交交付付金	川用施設の行要な資機材 要な資機材 定件数 238 年度 H22 - 平成23: 2額75,505 = 年度 H22 - 平成23: 3額8市町, ブロイラー	复旧及び再次 の導入を支 8件 H23 4,268,436 年度の実 62件 千円 E別決算 (上 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	編整備の他 接した。 見込)額(千 日とないでは、 日という。 日とり。 日という。 日という。 日という。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との	,経営の再 一円) H25 - 果 - 円) H25 -
33	産	農林水産部 農産産課 農産産課 農産産課 農産産業 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農産を 農産を 農産を 農産を した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを といること といること といること といること といること といること といること といること といること といる といる といる と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改助成 ①必要性 要と経管理 意を経管理 意と経管理 意となる。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	中期再生業権 事性 成果 た 事出業産する ②有 がある ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	ため、の が が が が が が が が が が が が が	等に対し 次年度の 維: 窓にたを飼す 次年度の 維: 次年度の 維: を受き、 を受き、 を受き、 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。	開た付 方 向性 ・交 交 ・交 交 付付 ・ ・ で で が し ・ で の に り 方 の に り に り に の に 。 に る に の に る に の に の に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。	川用施設の行 要な資機材 定件数 238 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	复旧及び再送の導入を支 の導入を支 B件 「H23 4,268,436 年度の実 62件 「円 「H23 75,505 年度の実 同十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	編整備の他 接した。 見込)額(千 日とないでは、 日という。 日とり。 日という。 日という。 日という。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日とり。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との。 日との	- 円) H25 - 円) H25 - 円) H25 - 果 頭, 採卵鶏
33	産 3 02 緊急 畜対 3 03 緊急 経援 3 04	農林水産部 農産産課 農産産課 農産産課 農産産業 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農産を 農産を 農産を 農産を した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを といること といること といること といること といること といること といること といること といること といる といる といる と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	4① ① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① ② 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改成 (1) 必要性 妥当 震災によりを経理 展 (2) の必要性 妥当 (2) の必要性 妥当 (3) の必要性 妥当 (4) のの (4) のの (5) のの (5	中期再生業 (2) (2) 有	ため,被災し行機 機械の再取得 7)分析 結果 概ね 効 効 を を を を を を を を が が が が が が が が が が が が が	等に対し 次年度の 維: にたを飼す 次年度の 維: 次年度の (害っ、養・補助す) 次年度の (害・養・人) 次年度の (害・養・人)	開た付 方 向性 ・交 交 ・交 交 付付 ・ ・ で で が し ・ で の に り 方 の に り に り に の に 。 に る に の に る に の に の に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。	川用施設の行 要な資機材 238 年 日 日 日 日 日 日 2 2 2 3 2 3 3 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5	度旧及び再支 の導入を支 B件 を別決算 (! は H23 4,268,436 年度の実 6 2件 千円 を別決算 (! 1 3 75,505 年度の実 7 5,505 年度の実 1 64千羽 千円	編整備の他 見込)額(千 根24 を状況・成 見込)額(千 根24 を状況・成 見込)額(千	- 円) H25 - 円) H25 - 早
33	産 3 02 緊急 畜対 3 03 緊急 経援 3	農林水産部 農産産課 農産産課 農産産課 農産産業 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農林水産等 農産を 農産を 農産を 農産を した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを した。 といることを といること といること といること といること といること といること といること といること といること といる といる といる と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6 75,505 4① 再掲 ビジョン 関連: 取組6	の改助成 ①必要性 要と経管理 意を経管理 意と経管理 意となる。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののである。 ②ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	中期再生業権 事性 成果 た 事出業産する ②有 がある ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	ため、の が が が が が が が が が が が が が	等に対し 次年度の 維: 窓にたを飼す 次年度の 維: 次年度の 維: を受き、 を受き、 を受き、 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。	開交 方向性 ・・ 交交 付付 ・ ・ ・ 交 	川用施設の行 要な資機材 定件数 238 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	复旧及び再送の導入を支 の導入を支 B件 「H23 4,268,436 年度の実 62件 「円 「H23 75,505 年度の実 同十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	編整備の他 接した。 見込)額(千 日本状況・成身 日本状況・成身 日本状況・成身 日本状況・成身	- 円) H25 - 円) H25 - 円) H25 - 果 頭, 採卵鶏

			T									_
					事業概						を状況・成 ∮	*
					地を新たな食						肝究実施に向	
	企 业:	1.生产地は五生の4-		,	県や独法の記 こ蓄積されてい		,)運営準備及整備を行っ	
		科生産地域再生のた D先端技術展開事			最適化し、農			11) / LII/K/	医少天心化	(P) () (C P+ (I))	正洲でロッ	/Co
	業		10,378	いて大規模等	実証を行う。							
25					ミ証された先端 この農業を支え							
35				旧・復興に沿		COIX MICC C	光10,18					
	4	農林水産部				の分析結果			年度	ま別決算(リ	見込)額(千	-円)
	05			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性				1
	緊急	農業振興課	ビジョン	妥当	成果があった	効率的	拡	充	H22	H23	H24	H25
	心	<u> </u>	関連:取組6			正面			ではつつ	10,378		 ■
				生産者の生	チェル 活再建と地域		一図るた	支援終	学学体数2件		也1人2017以2	*
	農産	E物等直 売所経営		め,震災によ	り売上げが洞	は少した農産物		7 420.11	2 []]]] []			
		美事業	269	所の経営改	善を支援する	0						
36									1			
		農林水産部	400		事業の	の分析結果	1		在 Fi	医别汝曾()	見込)額(千	-四)
	0	及怀尔连即	4③ ④ , 4④ ① に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+13	zni vi ()	元之/領(1	1 1/
	01	農林水産経営支	ビジョン	概ね妥当	ある程度	概ね効率的	維	齿	H22	H23	H24	H25
		援課	関連:取組7	MING X	た		ر عبر//	1.0	-	269	-	-
					事業概						も状況・成 !	
					県産農林水産 やイメージアッ				E国みやぎょ 22)→ 212(数
					へイグ・ラファン 県的に進め, !						興応援キャ	ンペーンを
		育•地産地消推進事		解や消費・混	5用の促進を	図る。また、宮	城の「食」				もに、量販店	
	業		1,364	に関して 験活動や現	服発信を行う/ 地見学を通じ	、M を登録・// て. 県民への	い追し,14 県産食材				商品試食や! 路確保及び	
37				やフードチェ	-ーンに対する	5理解促進, 負	食材を選	を図った				
,				択する刀のすの普及を図る	育成等に取り約 る。	組み, 地産地	消の一層					
		農林水産部			事業の	の分析結果			在日	宇则法質()	見込)額(升	<u>-</u>
	6		4④❶に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+13	Z/JI/ // ()	元之/ 银()	1 1/
	02	食産業振興課	ビジョン	妥当	ある程度 成果があっ	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
			取組7		た				-	1,364	-	-
				虚巛ルトルサ	事業概		生はなっ	, H-, I, FI			を状況・成場の保み活動	
	. ـــــ				E大な被害を勇 域において,)					平小利農地 定数 232協	の保全活動 定)	乂1友
		⅃間地域等直接支 ᢄ付金事業	221 021	続して農業な	上産活動を行	うため、サポー	- ト体制の					
			221,021		て,農業用用技 さ砂利補修等							
38				援する。	-C -> 14 HII > 7	· - >\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						
					事業の	の分析結果		<u> </u>			 \ <i></i> :	
	6	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	支別決算()	見込)額(千	-円)
	03		ビジョン	TV W	成果があっ	******	6µ.	lets	H22	H23	H24	H25
		農村振興課	取組30	妥当	た	効率的	維持	<u> </u>		221,021	_	
					事業概						包状況•成₺	果
					ティの回復・向 テう集落営農等				保全活動を	と支援 .織数 502%	日益)	
	農地	也・水保全管理事業		農家も含めた	た集落全体の	共同活動とし	て行う農	42,12	1114(1白 野)組	./htt/ 女X	□./·科文 /	
			331,966		施設の江払い							
39				砂利補修の活動等を支持	ほか,環境美 [。] 援する。	16店期,都市	とい父流					
						5 / 15 / t E						
		農林水産部		小沙垂址		の分析結果	加左声 《	→ ↔ ₩	年度	医別決算()	見込)額(刊	-円)
	6 04			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	の凹性	1100	1100	1104	LIDE
		農村振興課	ビジョン	妥当	成果があった	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
	Ī		取組30	I	/_		<u> </u>		_	331,966	_	_

					事業概	既要			平成23	年度の実施	包状況・成績	果
40	活重	也·水保全管理復旧 协支援事業	10,000	の影響により 的かつきめ約 取り組む組織 向上を図ると	機能低下等を 田やかに農地 最を支援し、集 ともに、集落の ることで農地の	と業用施設等を生じた地域 周りの施設の 選落コミュニティ でるみで行う後 の荒廃を防ぎ、	で,機動 補修等に rの回復・ 夏旧活動	•復旧活	·動支援 91	Oha		
		農林水産部			事業0	の分析結果			在 庄	F 见 法 答 / E	見込)額(千	:ш)
	6	辰怀小庄叩		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+15	·加沃异()	元达/贺(丁	· [7]
	05	農村振興課	ビジョン	妥当	成果があっ	効率的	維持	持	H22	H23	H24	H25
		75C 1 3 36C CON	関連:取組30	У. П	た	,,,,,,	ر عبرا/	-	-	10,000	-	-
)\(\frac{1}{2}\)	事業概		de la la	F 1. 4			色状況・成 身	• •
41		交給食地産地消推 事業	263	を図るため,	毎年11月を「 と食材月間」 産者と学校給	林水産物の系 すくすくみやき とし,普及・啓 食調理場との	ぎっ子み	月)」に』 マッチン	にる普及啓発	き,県産食材 校給食にお	のふるさと食 けの利用促進 らける地場産	色のための
		農林水産部			事業(の分析結果			左庄	EDIC 1 管 / E	見込)額(千	.ш.)
	6	辰怀小生印		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	干场	· 加沃异(5	元込/領(下	-F3)
	06	農林水産政策室	ビジョン	妥当	ある程度 成果があっ	概ね効率的	維持	持	H22	H23	H24	H25
	-		取組7		<u>た</u> 事業根	T THE			<u>-</u>	263		=
42	上道	やぎの食料自給率向 運動事業	898	一人一人が 農林水産業 農林水産物 自主的な取 費,食育など	について認知 国内外の食料 に対して理解 の生産振興と 組を促進する での関係団体と	地安)度の向上を図 ト事情や宮城・ を深めるととも 消費拡大を図 ため、生産、没 と連携しながら か」を展開する	の食材, に,県産 るための 流通,消 っ「みやぎ	標語の内に幅が 内に幅が 関や新り広報型の資料	集:応募総)最優秀作品 広く配布(20 聞・雑誌にお 発活動(出	数3,112点 品を掲載した 0,000部) する Sいて集中的 前講座やハ 生向け学習	ニポスターをで るとともに、な りにPRを実 パネル展示, 教材の作成	作成し,県 、共交通機 施 研修会で
		農林水産部	442に再掲	①必要性	事業の	D分析結果 ③効率性	次年度の	大向性	年度	医別決算(5	見込)額(千	円)
	6	,	ビジョン	少必安住	ある程度		么十反0.	ノノハロゴ土	H22	H23	H24	H25
		農林水産政策室	ロション 取組7	妥当	成果があった	概ね効率的	維持	持	-	898	-	-
	決	算(見込)額計	39,264,974		-							
決算	[(見	込)額計(再掲分除き)	24,170,064									